

医療と福祉の連携による 入院早期からの退院支援

【目的】 入院患者の地域移行と、暮らしを支える体制づくりの推進

精神疾患特有の症状の波。
どんな時でも、医療と福祉が強みを
生かし、精神障害者の地域生活
を支えられるように。

【内容】 支援者会議等において、ツール『退院支援のための医療と福祉の連携シート』を活用し、支援機関が共通認識を持って精神障害者の地域移行を支援するもの。

【対象者】 退院に向けて、何らかの課題を抱える精神障害者
(例:退院後の医療中断が心配される、退院先がない、サービス調整を要する等)

【ツールについて】

1. なぜツールを活用するのか

支援者間の認識のずれ、役割分担の曖昧さ等の解消。

(医療と福祉。まだまだ共通言語が少ないのでは?)

(意見を言えないまま会議を終えていませんか?)

「そういう意味だったの?」
「早くって言ったのに…。」
「〇〇さんがやってくれると思ってた。」
「誰に連絡すればいいの?」等の打開

2. ツールの活用方法 (データは、R6.6.1～岩沼市ホームページに掲載します。)

- ①フェイスシート(P.1) : 対象者をよく知る支援者が事前に作成する。または、会議で支援者同士の情報を共有しながら作成する。
- ②支援者会議(P2～3) : 会議で、話し合い作成する。
- ③モニタリング(P4) : モニタリングの担い手が、担当者に確認したうえで作成し、支援者間で共有する。

※様式は、使いやすいように自由に変更してください。また、必要な部分のみ使用することも可能です。

3. ツール運用への思い

ツールを活用することが目的になったり、「手間」と感じられたりすることは避けたいと思っています。そのため、ツールの運用には、細かなルールを作りませんでした。

このツールが、支援者間の「潤滑油」のような存在になればと思います。「ツール使ってみようかな。」と思ったら、ぜひご活用ください。

この取り組みは令和6年度から始まりました。感想やご意見がありましたら、ぜひ下記までお願いします。

【担当】岩沼市社会福祉課障害福祉係

〒989-2427 岩沼市里の杜三丁目4-15

電話(0223)23-0509

※精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム(にも包括)とは

精神障害の有無や程度にかかわらず、誰もが安心して自分らしく暮らすことができるよう、医療、障害福祉・介護、住まい、社会参加、地域の助け合い等が、包括的に確保されたシステムのこと。

(高齢者の「地域包括ケアシステム」と同様に市町村を中心として構築を進めることが期待されている。)